

再任用・再雇用職員・非常勤教員部ニュース

No. 319
2019.3.13

東京都公立学校教職員組合（東京教組）
再任用・再雇用職員・非常勤教員部
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 2F
TEL. 03-5276-1311 FAX. 03-5276-1312

「働き方改革元年？」 学校現場の長時間労働は解消するのか？

いよいよ年度末を迎え各学校では、次年度に向けたさまざまな計画が立案・検討されている時期である。振り返ると昨年は「学校現場の長時間労働問題」が、広く社会に認識されるようになった年であった。これまで、休憩時間さえろくに取れない状況が放置され、さらに、どんなに仕事をして「自発的な労働」とみなされ「残業代が支払われない仕組み」になっていることなどが、やっとクローズアップされたのだった。しかし、これに対する「対策」は、まだまだほんの序の口である。今年1月に「中教審の答申」と文科省の「ガイドライン」が、発表されたが、本気で現状を変えようと思えないような「小手先」の対策ばかりか、長時間労働を追認し、対策を現場任せにしている。さらには、「一年単位の変形労働時間制」の導入を提言するなど、「教員は過労死を辞さずに仕事をして当然」といわんばかりである。

さらに「ガイドライン」では、2019年度中には「改正労基法」施行に伴い「各自治体における時間外勤務の上限を規則で定めることの検討を行うこと」「(そのために)勤務時間を客観的に把握する仕組みの導入」などが予定されている。「変形労働時間制の導入」については、「地方公務員法の改正」が必要だが、現政権の国会運営を見るとさまざまな法律を「ごり押し」で成立させており、国会に上程されれば成立してしまうことが予想できる。法律案を国会上程させないためには、現場から声をあげ、世論に訴えていく必要があるだろう。

一方学校現場では、業務の見直しを進めるための校内での話し合いが欠かせない。「中教審答申」では、「学校が担う14の業務」が示されている。(下表参照)

○基本的には学校以外が担うべき業務	○学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	○教師の業務だが、負担軽減が可能な業務
① 登下校に関する対応 ② 放課後から夜間における見回り、児童生徒が補導されたときの対応 ③ 学校徴収金の徴収・管理 ④ 地域ボランティアとの連絡調整	⑤ 調査・統計等への回答等 ⑥ 児童生徒の休み時間における対応 ⑦ 校内清掃 ⑧ 部活動	⑨ 給食時の対応 ⑩ 授業準備 ⑪ 学習評価や成績処理 ⑫ 学校行事等の準備・運営 ⑬ 支援が必要な児童生徒・家庭への対応

答申に掲げられていることをてこに、行事の見直し、「挨拶当番」や休み時間の「体力づくり」のとりくみなどの廃止などを積極的に話題にするなど、現場が声を上げることが何より大切であろう。

2018年11月 訪韓報告 (2)

元部長 城田 純生

2 日目

9時に宿を出る。10時からソウル市内の民主労総金属労組の会議室でサンケン労組と交流会。オ・ヘジン分会長から会社復帰後の近況を聞いた。「会社が労組を認めようとせず、賃金カットや嫌がらせがあり、交渉もうまくいかなかった。ところが8月頃から態度が変わってきた。日本本社から労組とうまくやるように言われたようだ。2018賃金交渉はうまくいって妥結した。」指導委員のキムウニョンさんから前分会長のヤン・ソンモさんの病状についての報告もあった。「喉頭がんで治療中だが、地域の人や金属労組で支援している。日本からも応援のメッセージやカンパをいただいたことに感謝している。」サンケン労組から菊花茶とお菓子などをお土産にいただいた。 中略

キム・ウニョンさん「サンケンの闘いは単なる日韓連帯でなく、共に生き共に闘うということ」

続いて指導委員のキム・ウニョンさんから「情勢と労働運動の方向と課題」のテーマで、映像を使いながら話してもらった。ウニョンさんによれば2008年のリーマンショックまでを「オールド・ノーマル時代」とすれば、それ以降は「ニュー・ノーマル時代」。米国中心の覇権秩序が崩壊し、新興国が興隆している。しかし軍事的には米国が世界規模で米軍基地を展開し、東アジアでは中国に対抗して戦争の火種を残している。独裁政権と環境破壊、性暴力の温床である米軍基地を撤収することが民主主義を取り戻す闘いとなる。日本帝国主義の侵略の歴史は、過去の問題ではなく現在進行形の問題。過去の歴史と真摯に向き合い、国家的な賠償が必要だ。韓国や日本でアメリカ軍を追い出し、北東アジアにおける平和を確立するためには、日本と韓国の労働者・民衆が力を合わせなければならない。サンケンの闘いは単なる日韓連帯ではない。共に生き、共に闘うということだ。と

質疑で文在寅政権の評価を問われたウニョンさんはこう答えた。「本質は中道で親米。財閥解体・改革もない。朝鮮半島の自主権放棄・韓米同盟重視だ。アメリカに引っ張られることについてはきっぱり批判していく。幻想を持つのはよくないが、平和政策については牽引すべきだ。」報告の最後にウニョンさんはこう結んだ。これから2年くらいは激動の時代となる。2015年の民衆蜂起はキャンドル革命に発展したが、労働者階級が先頭に立つことはなかった。この歴史を繰り返してはならない。自主統一の力量強化が必要だ。米帝国主義に対抗し、労働者階級の立場から、未来に向かって手を取り合って進もうではないか。

青瓦台に肉薄する労組の事前集会。非正規労働者のデモに招かれる！

昼食後は店を変えてコーヒータイム。金属労組韓国GM労組のキム・チャンゴンさんが合流。労働者大会の会場に向かってキム・チャンゴンさん、キム・ウニョンさんの案内で散策。慶熙宮の興化門に差し掛かった時に、門の奥に広がる紅葉があまりに鮮やかだったので回り道。ソウル市歴史博物館前を歩いて青瓦台（大統領官邸）方面へ。街の随所で建設労組、女性労組などが道路や歩道の一角に座込んで事前集会。文政権になって青瓦台に近づけるようになったとかで、保

守政権のときにはかなり手前で警備に阻まれたそうだ。青瓦台をバックに記念撮影。

青瓦台の正面道路の片側を占拠して事前集会が開かれていた。光化門に向かって南下すると非正規労組がデモで会場に移動中。キム・チャンゴンさんに誘われ私たちも隊列に参加させていただいた。「言葉だけの正規職転換、もうだまされないぞ」と書いてある横断幕を韓国の非正規労働者と一緒に掲げて行進。先頭の宣伝カーでスピーチしていた「日本から労働者が一緒にデモ行進しています」と紹介してくれた。労働者大会の会場は光化門交差点から市庁方向 までの広い道路。全国から集まった 6 万人の労働者で埋め尽くされていた。その内の 3 万人が非正規労働者の組合というから、韓国労働運動の最大の焦点が非正規問題にあることがわかる。ステージに近いところにサンケン労組と一緒に座込む。



労働者大会の大掛かりな舞台装置に圧倒される！

6 万人の内 3 万人が非正規労働者！

午後 3 時。「積弊清算！労組活動の権利！社会大改革！11. 21 ゼネスト宣言！全泰堯 烈士精神継承 2018 全国労働者大会」が始まった。目の前のメインステージ左側にクレーンで吊り上げた 18 個のスピーカーと中央に超ワイドスクリーン。会場のあちこちにトラックにセットされたスピーカーとスクリーンがあり何台ものカメラがステージや参加者を頭上から映し出す。ステージでは手にマイクを持った文化宣伝隊約 50 人の唄とダンスが始まる。人気ロックグループのコンサート張りの大掛かりな舞台装置に圧倒される。

金属労組双龍車支部長、鉄道労組前 KTX 列車乗務支部長、金属労組カブルオートテック分会長が 3 人で開会を宣言。数えきれないほどの組合旗入場、連帯あいさつなどが続く。

アジア各国から駆け付けた労働者とともに私たちも金属労組に紹介されて登壇、代表してマレーシアのサラワク山林庁労組の女性活動家が「インドネシア、ネパールなどアジア活動家が 3 日間滞在して得た結論は非正規職、外注化、労働基本権弾圧と、同じ問題に直面している。多国籍資本に対抗して国際連帯を強化しよう」とアピール。現在高空籠城で闘うファインテック労組とタクシー労働者がテレビ電話でアピールし、その様子がステージ上の大画面に映し出された。

民主労総のキム・ミョンファン委員長は「民主労総は今、ILO 核心協約批准と労働法改定、国民年金改革と非正規職撤廃のための社会大改革を掲げ 11 月 21 日ゼネストに突入する」「民主労総は財閥体制の清算と司法壟断勢力の処罰だけが私たちが求める真のロウソク革命であることを明確に宣言する。心を一つにしっかりと凍えた手を温めた 2 年前のろうそく革命が、もう一度韓国社会の新たな枠組み作り、社会改革へと進むよう奮闘しよう」と宣言。大会の最後にゼネスト決議文が読み上げられ、デモ行進に移った。大通り全面に広がって進むデモ行進の解放感が心地よい。

終了後、キム・チャンゴンさん、キム・ウニョンさんらと共に食事しながら交流を深めた。

3日目

韓国最北端の都羅山駅のホームから線路の先の北側・開成駅方面を臨む
—一分断と和解の最前線—

翌日、早朝7時に宿を出発し、キム・ウニョンさんと一緒に非武装地帯 DMZ ツアーへ。観光バス会社で手続きをして8時半出発。バスは私たち以外にも日本人客ばかりでほぼ満員。ベテラン風の女性ガイドが流ちょうな日本語で解説を始めるが、これがすごかった。「いま北が攻めてきて戦場に取り残されたら、あなたたちはどうしますか。」といった調子で「北の脅威」を強調し文政権の南北融和政策を冷笑する、かなり保守イデオロギー色の濃い内容で辟易する。非武装地帯 DMZ に入る前に軍の検問所があり、バスの車内に入ってきてパスポートを確認する。南北融和の流れがあるとはいえ、朝鮮戦争がまだ終わっていないことを実感させられる瞬間だ。ソウルから1時間くらいで最初の見学地「第三トンネル」に到着。日曜日ということで、海外の観光客も多い。韓国の軍事独裁政権時代の1970年代以降、「北が南に侵略するために掘った」と宣伝される地下トンネルが何本も「発見」され、今では貴重な「観光資源」となっている。「第三トンネル」は観光会社のパンフによると「1978年10月に発見」され、「長さ1635m高さ1.95m幅2.1mで南方限界線の435mまで達し地下74mのところのところに造られた。1時間に武装兵が3万人も侵入することができる」。トンネルに入る前に見せられた8分の映像は、いかに38度線が緊張状態にあるかを視覚に訴える。最後は平和と統一が強調されるが、朝鮮半島が南から北に青く塗りつぶされていく映像。軍事独裁政権時代からの「北進統一」の露骨なイメージに度肝を抜かれた。ブルーのヘルメットを被らされ、遊園地にあるような50人ほど乗れるケーブルカーで狭いトンネル（これは観光客用に南が掘ったという）を8分ほど降下していき、薄暗い地下道を徒歩でしばらく行くと行き止まり。トンネルから出て入り口付近を歩くと、有刺鉄線に逆三角形の札が張られていた。赤字に白のどくろマークが入り「MINE」（地雷）の文字が入っている。ここから先が地雷原という印。現在は南北境界線の非武装化が進み地雷も撤去されたはずだが、そんな解説は見当たらない。次に向かったのは都羅トラ展望台。最近完成したばかりの新しい展望台に徒歩で向かう。途中の道路わきに韓国軍の軍用車両が駐車中。道路との境に有刺鉄線があり、その向こうで作業している何人かの兵士が見えた。軍の施設を建設中のようだ。北側に向けた監視塔もあった。ビル3階の展望台からは、天候がすっきりせずに見通しは悪かったが、それでも非武装地帯や北側の風景、開成工業団地、板門店などが見えた。次に韓国側の最北端にある都羅山トラサン駅を見学。1000ウォン（100円）の入場券でホームに入り、北側の開成方面も含めて自由に写真を撮ることができた。すでに南北の鉄道は連結されている。ホームには北側の「開成」駅と南側の「臨津江」駅を示す標識もあった。列車が南北を往来するのもそう遠い未来のことではないと感じた。

昼食は臨津閣イムジンカクの食堂でプルコギランチ。薄切りの牛肉と野菜がたっぷり入った「朝鮮風すき焼き」。スープが美味しかった。臨津閣の展望台から臨津江イムジンガンと北につながる橋が見えた。帰りのバスの中では、窓の外の臨津江のゆったりとした流れ、一定間隔で設置された監視所を見ながらウトウトするうちに、ソウルに到着。

再任用職員、再雇用職員・非常勤教員にかかわる要請書（案）

日頃より東京都の教育の発展と教育諸条件整備のために努力されていることに敬意を表します。

さて、地方公務員法改正に伴い2020年度から「会計年度任用職員制度」が始まることになり、今年度中にその「募集と選考」が行われることとなります。学校現場では「非常勤教員（日勤講師）」がこれに該当することになりますが、制度改正にあたっては、可能な限り現場の要望を取り入れるとともに、制度について十分な周知が必要となります。一方、年金支給開始年齢に達した再任用者では、次年度継続を希望した人々への採用拒否という事例が、複数の職場から報告されています。生活できる収入を確保できない等由々しき問題です。関係機関においての十分な配慮をお願いするところです。

東京都において若年採用者の増加に伴い、私たち再任用・再雇用職員・非常勤教員の職場に定める位置づけもますます重要となっています。職場からあがってきている真摯な思いを受け止めていただき、下記の項目について検討、改善されますよう要請いたします。

記

継続雇用全体を通して

- 1、採用選考基準を明確化するとともに、校種別希望者数・採用者数・合格率などを公開し、合否や配置校の変更などについて、透明性と納得性を高めること。
- 2、制度全体について、管理職が十分理解していない事例がみられる。勤務条件などについて管理職を指導すること。また、持ち時数・担当教科等の決定にあたっては、当該職員と十分な協議と納得の上決定する様、校長を指導すること。
- 3、「会計年度任用職員制度」の開始に伴い、制度の詳細（勤務条件・給与制度等）について、対象となる職員に対し十分な周知を行うこと。
- 4、現在、多くの職場で65歳以上の教員が時間講師等として雇用されているが、2020年度からは「免許更新制」によって65歳で免許更新をしなければならなくなり、学校現場の人手不足が深刻化する恐れがある。更新講習受講にかかる費用の補助など、受講しやすい環境を整える等の対策を早急に立てること。

再任用職員関係

- 1、採用希望者を全員採用すること。特に再任用短時間勤務については、希望者の意向を尊重すること。
- 2、再任用フルタイム勤務職員が担任をする場合、体育や宿泊的行事への参加を軽減すること。
- 3、養護教諭及び行政系の再任用職員（短時間勤務）の場合、フルタイム職員と同等の仕事で4日の勤務で行う実態がある。過度の負担をさせないように、管理職を指導するとともに、負担軽減に向けた対策を立てること。

再雇用職員、非常勤教員関係

1. 採用希望者を全員採用すること。
2. 再雇用嘱託員、非常勤教員の短期の介護休暇制度を有給化すること。
3. 小学校再雇用職員及び非常勤教員の授業持ち時間数は、中学校の規定を準用するなど過重負担とならないようにすること。
4. 再雇用職員、非常勤教員の職務は「教員」としての本務である「教科指導」「児童生徒指導」を基本とすること。授業以外の校務分掌は、担当教科等に付随するものとし、過重な負担をさせないこと。また、再雇用職員・非常勤教員に対する「その他校長が命じる業務」「副校長の補佐業務」については、本人の経験や希望が生かされるよう、十分なコミュニケーションを経て決定するよう、校長を指導すること。
5. 再雇用職員、非常勤教員の「会計年度任用職員」への移行に伴い次の点を改善すること。
 - (1) 一時金並びに諸手当を支給すること。一時金については、全額「期末手当」とするとともに、その支給水準については、職員のモチベーション向上に役立つものとする。
 - (2) 高齢者であり、相応の配慮が求められることを考慮し、過度に、補教（出張者や休暇取得者の授業の代替業務）をさせないこと。また、プール指導の補助等については、健康上の配慮をすること。

以上の要請書を3月19日(火)、都教委に提出します。

当 面 の 予 定

3月21日(木)	さよなら原発全国集会	12:30	代々木公園B地区
4月19日(金)	国会「総がかり行動」	18:30	国会議員会館前
4月17日(水)	新年度第1回再任用・再雇用職員・非常勤教員部部会	15:00	東京教組
4月27日(土)	2019中央メーデー	10:30	代々木公園
	2019三多摩メーデー	10:30	立川市民運動公園
5月 3日(金)	5.3憲法集会	11:00	有明・東京臨海防災公園
5月 11日(土)もしくは12日(日)	再任用・再雇用職員。非常勤教員部総会		